

【公表：委員名なし】

令和7年度 第1回周南市高齢者保健福祉推進会議
議事録

日時： 令和8年3月16日（月） 午後7時から
場所： 本庁 多目的室（南北）

【 会 議 次 第 】

1. 福祉部長あいさつ

2. 議題 1 「第 10 次老人保健福祉計画・第 9 期介護保険事業計画」の
令和 7 年度進捗状況について（資料 No1）
議題 2 保険者機能強化推進交付金等について（資料 No2～No3）
議題 3 介護人材アンケート調査の結果について
議題 4 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（案）について

3. その他

日 時 令和8年3月16日(月) 午後7:00～午後8:15
 場 所 周南市役所 本庁 多目的室 南北
 出席者 推進会議委員 11名(4名の委員が欠席)
 福祉部長ほか、事務局 13名(地域福祉課・高齢者支援課・指導監査課・健康づくり推進課)、株式会社 名豊 1名(課長)

会 議 議 事 録

開会	令和7年度 第1回周南市高齢者保健福祉推進会議 ・福祉部長あいさつ
議題1	「第10次老人保健福祉計画・第9期介護保険事業計画」の令和7年度進捗状況について(資料No1)
事務局	>進捗状況について説明
会長	<p>【質疑応答】</p> <p>>本学でも取り組んでいる人材育成、最後のところでご報告があったが、要は雇用、仕事をしたい人を探すというところの前提として、施設側の人材の質を向上させるようなマネジメントであるとか、人材定着であるとか、そういったところの向上の手法を持っていただく上での改善点、悪いというわけではないが、やはりそういった魅力がある人事考課であるとか、職務内容、円滑な労働のコミュニケーションとか、それから利用者さんとのコミュニケーションであるとか、そういったストレスフリーな環境づくりに関しても、整備自体が、やっぱり人材の確保、資質の向上といったところにも繋がると思いますので、その辺りも、ご注意していただくということも必要と思います。</p> <p>(その他、意見なし)</p>
議題2	保険者機能強化推進交付金等について(資料No2～No3)
事務局	<p>>保険者機能強化推進交付金等について、説明</p> <p>【質疑応答】</p> <p>(意見等なし)</p>

議題3	介護人材アンケート調査の結果について
事務局	>介護人材アンケート調査の結果について説明
委員	<p data-bbox="355 405 515 439">【質疑応答】</p> <p data-bbox="341 454 1461 533">>人材確保に苦慮している職種（資格）についてだが、人材確保を要する介護福祉士というのはわかるが、“●●研修”という表記になっているが、どうか。</p>
事務局	>ここの“●●研修”というのは、“研修修了者”という意味となります。
会長	<p data-bbox="341 692 1461 819">>あと、人材確保は、本市だけではなく全国的に同じような課題は多々あり、これを解消しなければ、なかなか長寿化って言われても、そのサービスを提供する人たちがいない中でどうするのかっていうのはある。</p> <p data-bbox="341 835 1461 963">また、ケアマネジャーのシャドーワークについてだが、やらなくていい業務だが、これは本来、やってはいけない業務だと思うが、現場では、利用者との関係性とかで、やらざる得ない業務ということでもいいか。</p> <p data-bbox="341 978 1461 1059">よって、これらについて、利用者やケアマネジャーに、本来の業務としてやらないという、啓発はできないのか。</p>
事務局	>シャドーワークについて、他の方で担えないのかというところを、国の方で議論されています。
会長	>利用者やケアマネジャーへの啓発は。
事務局	>来年度はチラシを作成し、介護認定の申請の際等に、これらの業務はケアマネジャーの役割ではない旨の周知を行う予定です。
会長	<p data-bbox="341 1505 1461 1682">>これは福祉だけの問題ではなく、一般的な消費者、コンシューマー的な教育、事業者だけでなく、利用者の方への社会的教育、リテラシーをいかに伸ばさせていくのか、このあたり、ケアマネが本来業務に従事できるよう、人材の確保を目指していくことは、非常に重要と思われれます。</p>
委員	>ケアマネジャーは見るに見かねてやっているもので、そのところをカバーできるもの考えたらいいのでは。
会長	<p data-bbox="341 1888 1461 1968">>他市では、困りごと解決隊みたいなことをやっている。そういったことも取り組む形態を作っていけたらいい。</p> <p data-bbox="355 1984 636 2016">(その他、意見なし)</p>

議題 4

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（案）について

事務局

> ニーズ調査の案について説明

会長

【質疑応答】

> 高齢者の方が、年金が目減りするかもしれないという社会状況において、健康とお金のバランス、生活をしていくということ、それから健康リスクのヘッジをいかにしていくのかということの対象が増えていくと思われま

す。地域的なボランティアをする人は減ってきており、生活を営むには、延長雇用、働きたくはないが、生活するために就労していく高齢者は増えている状況下において、健康とお金という関係性は、非常にセンシティブな課題として出てくるのではないかと

思います。それから、沿岸部分と中山間地域、山口県でいえば日本海側の都市の成長であるとか、産業の成長・衰退というバランスを考えていくと、そこでの生活を営むこと自体に非常に困難性を期するとき、その住宅環境の課題であるとか、健康維持をしていこうとするところの支える組織自体がない中で、高齢者が生きていくという、さらなるフェーズの課題が生まれてくる。

よって、介護が必要となった時に、貯蓄が目減りしたとしても生活を維持し、100歳まで生きるというような金銭的、健康的環境を、地域の中でどう形作っていくのかは、課題と思われま

す。そのためには、高齢者自身が健康維持のための知識を高める機会を提供していかなければならないと思

います。

（その他、意見なし）

【閉会】 午後8時15分